

16. 海岸河川工事

16-1 捨石工・消波ブロック

(1) 幅の測定状況



留意事項

- リボンロッドに張力を加え、たるまないようにしている。
- 測定位置の全体での位置づけがわかりにくいので、黒板を入れて測定位置（測点）が確認できるようにする。
- ポールを立てて終点がわかるようにする。

(2) ブロックの据付状況



留意事項

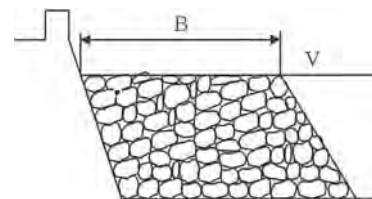
- 鋼矢板にマーキングがあるため据付位置が特定できる。
- 黒板にも測点等を記入し、据付位置がわかるようにする。
- 使用機械が確認できるようなカメラアングルを工夫して撮影する。

撮影方法

- 前後の仕上がり状況が確認できるアングルにする。
- 測定箇所（測点）の起終点がわかるように、リボンロッドを用いて撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置（測点）
- 作業内容
- 使用材料の仕様
- 捨石断面略図を記入し、測定箇所を赤で表示する。



撮影方法

- 据付位置や使用機械とともに、据付状況が確認できるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用機械名・規格
- ブロックの規格・数量を記入する。

16-1 捨石工・消波ブロック

(3) 幅及び法長の測定状況



留意事項

- 丁張りで出来形を示しているのので寸法がわかりやすい。
- 起終点にポールなどが無いので測定範囲がわかりにくい。
- 丁張の手前と奥とのブロックタイプの違いを黒板を入れて説明する。

撮影方法

- 測定箇所はもちろんのこと、前後の連続性が確認できるようなアングルで撮影する。
- ポールなどを立てて、起終点を明確にする。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法及び実測寸法
- ブロックの規格・数量
- ブロックの断面の略図を記入し、測定位置を表示する。ブロックタイプが違う場合、延長方向も図示し、タイプ毎の範囲を表示する。